

## <計画変更の理由>

- ✓ 今年度第1回協議会(R7.7.9開催)で、現行計画の計画期間を1年延長することについて承認をいただいた。
- ✓ 計画期間を1年延長するにあたり、現行の熊本地域公共交通計画の内容を一部変更するもの。

## <変更する内容>

### ①計画期間(P.7)

計画期間を「平成28年4月から令和9年3月までの11年間」へ変更。

### ②数値目標(P.98~102)

- ・目標年度をR8年度へ修正。
- ・目標値そのものは、現行のまま修正しない。

### ③その他(P.123、P.157)

計画期間を延長したことに伴い、各ページ図表の年度を修正。

**変更内容の詳細は別紙「新旧対照表」を参照**

第1章 はじめに

修正前

修正後

P7

P7

3 計画の区域

3 計画の区域

熊本市及び嘉島町の全域

熊本市及び嘉島町の全域

※ただし、嘉島町内の検討対象地域については、当面、イオンモール熊本を経由するバス路線沿線を中心とした区域とします。

※ただし、嘉島町内の検討対象地域については、当面、イオンモール熊本を経由するバス路線沿線を中心とした区域とします。



▲計画の区域

▲計画の区域

4 計画の期間

4 計画の期間

平成28年4月から令和8年3月までの10年間

平成28年4月から令和9年3月までの11年間

※まちづくり施策との整合を図る観点から、「第2次熊本市都市マスタープラン」の目標年次である令和7年に設定しています。

関連計画	年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
熊本地域公共交通計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)		H28.4~					
第2次熊本市都市マスタープラン	全体構想 (H21.3月策定) (H29.8月改定)	H21.4月~					
	地域別構想 (H26.3月策定) (H30.9月改定)	H26.4月~					
熊本市立地適正化計画 (H28.3月策定) (R3.3月改定)		H28.4月~					

関連計画	年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	
熊本地域公共交通計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)		H28.4月~							
第2次熊本市都市マスタープラン	全体構想 (H21.3月策定) (H29.8月改定)	H21.4月~							
	地域別構想 (H26.3月策定) (H30.9月改定)	H26.4月~							
熊本市立地適正化計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)		H28.4月~							
第3次熊本市都市マスタープラン (全体構想・地域構想・立地適正化計画)									R8.4月~

修正前	修正後																				
<p>P98</p> <p><b>2 数値目標及び設定理由</b></p> <p>『1 計画の目標』で掲げた目標について、以下の数値目標を設定し、取組の達成状況の評価・検証を行うことで、施策の拡充や改善など計画の効果的な取組につなげます。</p> <table border="1" data-bbox="253 470 963 513"> <tr> <td>数値目標1</td> <td>公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率</td> </tr> </table> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>日常生活や経済活動等において、居住地・事業所等から最寄りの鉄軌道駅やバス停等が近くにあり、自動車を利用しなくても中心市街地や地域拠点等に移動できる都市基盤の形成は、公共交通を利用しやすいエリアへの居住や都市機能の誘導にも繋がり、多核連携のまちづくりを進めていくうえで重要です。</p> <p>そこで、鉄軌道や路線バス、コミュニティ交通など公共交通にアクセスしやすい区域の住民の割合を示す指標として「公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率」を設定します。</p> <p>「公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率」は、5年毎に行われる国勢調査結果を基に、鉄軌道駅を中心とした概ね半径 500m 内の居住人口とバス停及びコミュニティ交通の停留所を中心とした概ね半径 300m 内の居住人口の総人口に対する割合を用います。(※人口カバー率の設定の考え方については、P. 103 を参照。)</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標年次は、計画の最終年次となる令和 7 年度に設定します。(数値目標2、数値目標3、数値目標4、数値目標5についても同様とします。)</p> <p>目標値は、将来的に人口減少が見込まれる中においても、住民等が将来に亘り安心して移動できる公共交通が整備された都市基盤を維持していくことが重要であることから、<u>公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率の維持を設定します。</u></p> <p>令和 7 年度目標値は、令和 2 年度(2020 年度)実績値と同値に設定します。</p> <table border="1" data-bbox="212 1236 884 1369"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値 &lt;H27 年度&gt;</th> <th>実績値 &lt;R2 年度&gt;</th> <th>目標値 &lt;R7 年度&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率</td> <td>83.9 %</td> <td>85.6 %</td> <td>85.6 %</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標1	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	数値目標	基準値 <H27 年度>	実績値 <R2 年度>	目標値 <R7 年度>	1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9 %	85.6 %	85.6 %	<p>P98</p> <p><b>2 数値目標及び設定理由</b></p> <p>『1 計画の目標』で掲げた目標について、以下の数値目標を設定し、取組の達成状況の評価・検証を行うことで、施策の拡充や改善など計画の効果的な取組につなげます。</p> <table border="1" data-bbox="1272 470 1982 513"> <tr> <td>数値目標1</td> <td>公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率</td> </tr> </table> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>日常生活や経済活動等において、居住地・事業所等から最寄りの鉄軌道駅やバス停等が近くにあり、自動車を利用しなくても中心市街地や地域拠点等に移動できる都市基盤の形成は、公共交通を利用しやすいエリアへの居住や都市機能の誘導にも繋がり、多核連携のまちづくりを進めていくうえで重要です。</p> <p>そこで、鉄軌道や路線バス、コミュニティ交通など公共交通にアクセスしやすい区域の住民の割合を示す指標として「公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率」を設定します。</p> <p>「公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率」は、5年毎に行われる国勢調査結果を基に、鉄軌道駅を中心とした概ね半径 500m 内の居住人口とバス停及びコミュニティ交通の停留所を中心とした概ね半径 300m 内の居住人口の総人口に対する割合を用います。(※人口カバー率の設定の考え方については、P. 103 を参照。)</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標年次は、計画の最終年次となる令和 8 年度に設定します。(数値目標2、数値目標3、数値目標4、数値目標5についても同様とします。)</p> <p>目標値は、将来的に人口減少が見込まれる中においても、住民等が将来に亘り安心して移動できる公共交通が整備された都市基盤を維持していくことが重要であることから、<u>公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率の維持を設定します。</u></p> <p>令和 8 年度目標値は、令和 2 年度(2020 年度)実績値と同値に設定します。</p> <table border="1" data-bbox="1232 1241 1910 1374"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値 &lt;H27 年度&gt;</th> <th>実績値 &lt;R2 年度&gt;</th> <th>目標値 &lt;R8 年度&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率</td> <td>83.9 %</td> <td>85.6 %</td> <td>85.6 %</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標1	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	数値目標	基準値 <H27 年度>	実績値 <R2 年度>	目標値 <R8 年度>	1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9 %	85.6 %	85.6 %
数値目標1	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率																				
数値目標	基準値 <H27 年度>	実績値 <R2 年度>	目標値 <R7 年度>																		
1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9 %	85.6 %	85.6 %																		
数値目標1	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率																				
数値目標	基準値 <H27 年度>	実績値 <R2 年度>	目標値 <R8 年度>																		
1. 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9 %	85.6 %	85.6 %																		

修正前	修正後																
<p>P99</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="background-color: #e1f5fe; padding: 2px;">数値目標 2</span> 公共交通機関の年間利用者数         </div> <p>(1)数値目標の設定理由</p> <p>自動車への依存や人口減少・高齢化社会が一層進展する中において、自動車の利用が困難な高齢者をはじめ、通勤・通学など様々な生活シーンにおける移動手段を将来に亘り確保していくためには、利便性の高い持続可能な公共交通網を形成していくことが重要であり、また、その形成にあたってはネットワーク沿線の近隣自治体を含めた都市圏全体を見渡すことも重要です。</p> <p>そこで、都市圏において、通勤・通学をはじめ、通院や買物などで年間を通じて公共交通機関を利用している人の数を示す指標として「公共交通機関の年間利用者数」を設定します。</p> <p>「公共交通機関の年間利用者数」は、熊本市第7次総合計画における公共交通関連施策の成果指標としても設定しており、毎年度、輸送実績等から把握する各公共交通事業者の利用者数の合計値を用います。</p> <p>(2)目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的に人口減少等が見込まれ、また、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用者数は大幅に減少している中においても、新しい公共交通施策等を積極的に展開し、公共交通利用の促進を図ることが重要であることから、<u>公共交通利用者数の増加を設定します。</u></p> <p>目標値の設定にあたっては、様々な施策展開により、公共交通機関の利用者数を増加する考え方のもと、<u>総合計画で定める年間利用者数と同じ値を令和7年度目標値に設定します。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1f5fe;">数値目標</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">基準値 &lt;H27年度&gt; (H26年度実績)</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">実績値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">目標値 &lt;R7年度&gt; (R6年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 公共交通機関の年間利用者数</td> <td>55,436 千人</td> <td>53,216 千人</td> <td>56,000 千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標値には新たなコミュニティ交通含む</p>	数値目標	基準値 <H27年度> (H26年度実績)	実績値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)	2. 公共交通機関の年間利用者数	55,436 千人	53,216 千人	56,000 千人	<p>P99</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <span style="background-color: #e1f5fe; padding: 2px;">数値目標 2</span> 公共交通機関の年間利用者数         </div> <p>(1)数値目標の設定理由</p> <p>自動車への依存や人口減少・高齢化社会が一層進展する中において、自動車の利用が困難な高齢者をはじめ、通勤・通学など様々な生活シーンにおける移動手段を将来に亘り確保していくためには、利便性の高い持続可能な公共交通網を形成していくことが重要であり、また、その形成にあたってはネットワーク沿線の近隣自治体を含めた都市圏全体を見渡すことも重要です。</p> <p>そこで、都市圏において、通勤・通学をはじめ、通院や買物などで年間を通じて公共交通機関を利用している人の数を示す指標として「公共交通機関の年間利用者数」を設定します。</p> <p>「公共交通機関の年間利用者数」は、熊本市第7次総合計画における公共交通関連施策の成果指標としても設定しており、毎年度、輸送実績等から把握する各公共交通事業者の利用者数の合計値を用います。</p> <p>(2)目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的に人口減少等が見込まれ、また、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用者数は大幅に減少している中においても、新しい公共交通施策等を積極的に展開し、公共交通利用の促進を図ることが重要であることから、<u>公共交通利用者数の増加を設定します。</u></p> <p>目標値の設定にあたっては、様々な施策展開により、公共交通機関の利用者数を増加する考え方のもと、<u>令和8年度目標値を設定します。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e1f5fe;">数値目標</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">基準値 &lt;H27年度&gt; (H26年度実績)</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">実績値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="background-color: #e1f5fe;">目標値 &lt;R8年度&gt; (R7年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. 公共交通機関の年間利用者数</td> <td>55,436 千人</td> <td>53,216 千人</td> <td>56,000 千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標値には新たなコミュニティ交通含む</p>	数値目標	基準値 <H27年度> (H26年度実績)	実績値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)	2. 公共交通機関の年間利用者数	55,436 千人	53,216 千人	56,000 千人
数値目標	基準値 <H27年度> (H26年度実績)	実績値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)														
2. 公共交通機関の年間利用者数	55,436 千人	53,216 千人	56,000 千人														
数値目標	基準値 <H27年度> (H26年度実績)	実績値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)														
2. 公共交通機関の年間利用者数	55,436 千人	53,216 千人	56,000 千人														

修正前	修正後																
<p>P100</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数値目標3 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合</p> </div> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>公共交通を維持・確保していくためには、住民・事業者・行政等の適切な役割分担のもと、地域社会全体で支えていくことが重要であり、日常生活や余暇活動等において、自動車から公共交通機関への利用を促進していくことは、公共交通の維持・確保に向けた直接的な効果に留まらず、交通渋滞の緩和や快適な都市空間の形成などのまちの賑わい創出、環境負荷の軽減など様々な相乗効果をもたらすものです。</p> <p>そこで、通勤・通学をはじめ、通院や買物などで公共交通機関を利用する市民の割合を示す指標として「目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合」を設定します。</p> <p>「目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合」は、熊本市第7次総合計画における公共交通関連施策の成果指標としても設定しており、毎年度実施する市民を対象としたアンケート調査から、利用すると回答した市民のアンケート調査対象者数に対する割合を用います。</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的な人口減少が見込まれる中においても、公共交通の維持・確保に向けて、行政や公共交通事業者の連携による施策・事業の実施はもとより、住民等の様々な生活シーンでの移動を公共交通機関の利用へ転換・促進していくことが重要であることから、<u>公共交通機関を利用する市民の割合の増加（基準値に対して増加）を設定します。</u></p> <p>なお、増加割合値の設定については、<u>少なくとも市民の2人に1人が目的地に行くときに公共交通機関を利用することを目標に掲げる</u>ことから、令和7年度の目標値を50.0%と設定します。（アンケート調査結果上、『よく利用している』（週に1回以上利用）または『時々利用している』（月に1回以上利用）と回答した人の割合。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">数値目標</th> <th style="width: 15%;">基準値 &lt;H27年度&gt;</th> <th style="width: 15%;">実績値 &lt;R2年度&gt;</th> <th style="width: 15%;">目標値 &lt;R7年度&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合</td> <td>47.5%</td> <td>31.3%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値 <H27年度>	実績値 <R2年度>	目標値 <R7年度>	3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合	47.5%	31.3%	50.0%	<p>P100</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数値目標3 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合</p> </div> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>公共交通を維持・確保していくためには、住民・事業者・行政等の適切な役割分担のもと、地域社会全体で支えていくことが重要であり、日常生活や余暇活動等において、自動車から公共交通機関への利用を促進していくことは、公共交通の維持・確保に向けた直接的な効果に留まらず、交通渋滞の緩和や快適な都市空間の形成などのまちの賑わい創出、環境負荷の軽減など様々な相乗効果をもたらすものです。</p> <p>そこで、通勤・通学をはじめ、通院や買物などで公共交通機関を利用する市民の割合を示す指標として「目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合」を設定します。</p> <p>「目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合」は、熊本市第7次総合計画における公共交通関連施策の成果指標としても設定しており、毎年度実施する市民を対象としたアンケート調査から、利用すると回答した市民のアンケート調査対象者数に対する割合を用います。</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的な人口減少が見込まれる中においても、公共交通の維持・確保に向けて、行政や公共交通事業者の連携による施策・事業の実施はもとより、住民等の様々な生活シーンでの移動を公共交通機関の利用へ転換・促進していくことが重要であることから、<u>公共交通機関を利用する市民の割合の増加（基準値に対して増加）を設定します。</u></p> <p>なお、増加割合値の設定については、<u>少なくとも市民の2人に1人が目的地に行くときに公共交通機関を利用することを目標に掲げる</u>ことから、令和8年度の目標値を50.0%と設定します。（アンケート調査結果上、『よく利用している』（週に1回以上利用）または『時々利用している』（月に1回以上利用）と回答した人の割合。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">数値目標</th> <th style="width: 15%;">基準値 &lt;H27年度&gt;</th> <th style="width: 15%;">実績値 &lt;R2年度&gt;</th> <th style="width: 15%;">目標値 &lt;R8年度&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合</td> <td>47.5%</td> <td>31.3%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値 <H27年度>	実績値 <R2年度>	目標値 <R8年度>	3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合	47.5%	31.3%	50.0%
数値目標	基準値 <H27年度>	実績値 <R2年度>	目標値 <R7年度>														
3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合	47.5%	31.3%	50.0%														
数値目標	基準値 <H27年度>	実績値 <R2年度>	目標値 <R8年度>														
3. 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合	47.5%	31.3%	50.0%														

修正前	修正後																								
<p>P101</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     数値目標4 公的資金が投入されている公共交通の収支率                 </div> <p>(1)数値目標の設定理由</p> <p>バス運転士の高齢化等に起因する運転士不足の深刻化や公共交通利用者の減少に伴う収支悪化による減便や路線廃止が進む中において、今後も公共交通サービスを維持し、住民等の移動手段を確保するためには、経営基盤の強化や様々な公共交通施策を展開し、公共交通事業の収益増加及び支出抑制により、公共交通のサービス水準向上を図ることが重要です。</p> <p>そこで、公共交通の収支の状況を示す指標として「公的資金が投入されている公共交通の収支率」を設定します。</p> <p>「公的資金が投入されている公共交通の収支率」は、毎年度の交通事業者の経常費用と経常収入の割合を用います。</p> <p>(2)目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的な人口減少が見込まれる中においても、公共交通の維持・確保に向けての新しい取組への積極的な展開はもとより、公共交通の最適化・効率化による公共交通の経営基盤の強化を図ることが重要であることから、<u>公的資金が投入されている公共交通の収支率の向上を設定します。</u></p> <p>令和7年度目標値は、令和2年度（2020年度）実績値以上に設定します。</p> <p>■バス（5社）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R7年度&gt; (R6年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率</td> <td style="text-align: center;">63.9 %</td> <td style="text-align: center;">63.9 %以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>■鉄軌道（電鉄・市電）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R7年度&gt; (R6年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率</td> <td style="text-align: center;">93.8 %</td> <td style="text-align: center;">93.8 %以上</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)	4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	63.9 %	63.9 %以上	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)	4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	93.8 %	93.8 %以上	<p>P101</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     数値目標4 公的資金が投入されている公共交通の収支率                 </div> <p>(1)数値目標の設定理由</p> <p>バス運転士の高齢化等に起因する運転士不足の深刻化や公共交通利用者の減少に伴う収支悪化による減便や路線廃止が進む中において、今後も公共交通サービスを維持し、住民等の移動手段を確保するためには、経営基盤の強化や様々な公共交通施策を展開し、公共交通事業の収益増加及び支出抑制により、公共交通のサービス水準向上を図ることが重要です。</p> <p>そこで、公共交通の収支の状況を示す指標として「公的資金が投入されている公共交通の収支率」を設定します。</p> <p>「公的資金が投入されている公共交通の収支率」は、毎年度の交通事業者の経常費用と経常収入の割合を用います。</p> <p>(2)目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的な人口減少が見込まれる中においても、公共交通の維持・確保に向けての新しい取組への積極的な展開はもとより、公共交通の最適化・効率化による公共交通の経営基盤の強化を図ることが重要であることから、<u>公的資金が投入されている公共交通の収支率の向上を設定します。</u></p> <p>令和8年度目標値は、令和2年度（2020年度）実績値以上に設定します。</p> <p>■バス（5社）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R8年度&gt; (R7年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率</td> <td style="text-align: center;">63.9 %</td> <td style="text-align: center;">63.9 %以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>■鉄軌道（電鉄・市電）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R8年度&gt; (R7年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率</td> <td style="text-align: center;">93.8 %</td> <td style="text-align: center;">93.8 %以上</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)	4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	63.9 %	63.9 %以上	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)	4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	93.8 %	93.8 %以上
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)																							
4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	63.9 %	63.9 %以上																							
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)																							
4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	93.8 %	93.8 %以上																							
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)																							
4-1. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	63.9 %	63.9 %以上																							
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)																							
4-2. 公的資金が投入されている公共交通の収支率	93.8 %	93.8 %以上																							

修正前	修正後												
<p>P102</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     数値目標 5 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額                 </div> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>利用者の減少、事業者の経営悪化、路線バスの減便や路線廃止等の公共交通の負のスパイラルが進む中においても公共交通全体でのサービス水準の維持・確保を図っていくことが必要です。</p> <p>このためには、公共交通の利便性・生産性を最大限向上させるため、新しい取組等を積極的に展開し、公共交通全体として利用者数を増加させるとともに、重複区間の最適化など非効率なサービス提供の見直しを行い、運行の効率化を図ることで収益を増加させることが重要です。</p> <p>一方、公共交通のサービス水準の維持・確保に向けては、現状の環境では、一定程度の公的資金の支援は必要ですが、前述のように事業者の経営努力も重要であり、公的資金投入額のうち運行費補助の占める割合を抑制するなど、効果的に公的資金を投入していかなければなりません。</p> <p>そこで、公共交通への運行に関する行政負担を示す指標として、「利用者1人当たりの公的資金投入額」を設定します。</p> <p>「利用者1人当たりの公的資金投入額」は、毎年度の公共交通への公的資金投入額と公共交通の年間の利用者数の割合を用います。</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的に人口減少等が見込まれる中においても、公共交通のサービス水準向上による公共交通利用者の増加、収益の増加を目指すことはもとより、公共交通事業の最適化による公的資金の効率化を図ることが重要であることから、<u>利用者1人当たりの公的資金投入額の減少を設定します。</u></p> <p>なお、令和7年度目標値は、令和2年度（2020年度）基準値以下に設定します。</p> <p>■バス（5社）、鉄軌道（電鉄・市電）、コミュニティ交通</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R7年度&gt; (R6年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額</td> <td>21円/人</td> <td>21円/人以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>※公的資金は、路面補修等設備投資、災害分（コロナ含む）を除く運行に関する補助</p>	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)	5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額	21円/人	21円/人以下	<p>P102</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     数値目標 5 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額                 </div> <p>(1) 数値目標の設定理由</p> <p>利用者の減少、事業者の経営悪化、路線バスの減便や路線廃止等の公共交通の負のスパイラルが進む中においても公共交通全体でのサービス水準の維持・確保を図っていくことが必要です。</p> <p>このためには、公共交通の利便性・生産性を最大限向上させるため、新しい取組等を積極的に展開し、公共交通全体として利用者数を増加させるとともに、重複区間の最適化など非効率なサービス提供の見直しを行い、運行の効率化を図ることで収益を増加させることが重要です。</p> <p>一方、公共交通のサービス水準の維持・確保に向けては、現状の環境では、一定程度の公的資金の支援は必要ですが、前述のように事業者の経営努力も重要であり、公的資金投入額のうち運行費補助の占める割合を抑制するなど、効果的に公的資金を投入していかなければなりません。</p> <p>そこで、公共交通への運行に関する行政負担を示す指標として、「利用者1人当たりの公的資金投入額」を設定します。</p> <p>「利用者1人当たりの公的資金投入額」は、毎年度の公共交通への公的資金投入額と公共交通の年間の利用者数の割合を用います。</p> <p>(2) 目標値及び目標年次の設定理由</p> <p>目標値は、将来的に人口減少等が見込まれる中においても、公共交通のサービス水準向上による公共交通利用者の増加、収益の増加を目指すことはもとより、公共交通事業の最適化による公的資金の効率化を図ることが重要であることから、<u>利用者1人当たりの公的資金投入額の減少を設定します。</u></p> <p>なお、令和8年度目標値は、令和2年度（2020年度）基準値以下に設定します。</p> <p>■バス（5社）、鉄軌道（電鉄・市電）、コミュニティ交通</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">数値目標</th> <th style="width: 30%;">基準値 &lt;R2年度&gt; (R元年度実績)</th> <th style="width: 30%;">目標値 &lt;R8年度&gt; (R7年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額</td> <td>21円/人</td> <td>21円/人以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>※公的資金は、路面補修等設備投資、災害分（コロナ含む）を除く運行に関する補助</p>	数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)	5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額	21円/人	21円/人以下
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R7年度> (R6年度実績)											
5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額	21円/人	21円/人以下											
数値目標	基準値 <R2年度> (R元年度実績)	目標値 <R8年度> (R7年度実績)											
5. 利用者1人当たりの公共交通への公的資金投入額	21円/人	21円/人以下											

第7章 目標達成のための施策・事業

修正前		修正後																																																																																																																																																																	
<p>P123 事業別シート</p> <p>施策展開の基本的な考え方や基幹公共交通軸方面別の展開方針に沿った計画の目標を達成するための事業として、以下の25事業に取り組みます。</p>		<p>P123 事業別シート</p> <p>施策展開の基本的な考え方や基幹公共交通軸方面別の展開方針に沿った計画の目標を達成するための事業として、以下の25事業に取り組みます。</p>																																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名称</th> <th colspan="2">事業スケジュール</th> </tr> <tr> <th>前期 (H28年度～R2年度)</th> <th>後期 (R3年度～R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>事業(1) ソーンシステムの導入</td><td>実施中</td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(2) 乗換拠点の整備</td><td>実施中</td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(3) 快速バス等の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS</td><td>実施中</td><td>拡大検討</td></tr> <tr><td>事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(6) 路面電車ネットワークの拡充</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(14) バスロケーションシステム等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(16) バリアフリー対応車両の充実</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(18) パークアンドライド(P&amp;R)、サイクルアンドライド(C&amp;R)等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(20) 新しい生活様式への対応</td><td></td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(21) 公共交通のシームレス化の推進</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(23) 自動運転技術の導入検討</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> </tbody> </table>	事業名称	事業スケジュール		前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R7年度)	事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施	事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施	事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施	事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討	事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施	事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化		検討・実施	事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施	事業(6) 路面電車ネットワークの拡充		検討・実施	事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入		検討・実施	事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施	事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施	事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施	事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施	事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施	事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施	事業(14) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(16) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施	事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施	事業(18) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施	事業(20) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施	事業(21) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施	事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定		検討・実施	事業(23) 自動運転技術の導入検討		検討・実施		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名称</th> <th colspan="2">事業スケジュール</th> </tr> <tr> <th>前期 (H28年度～R2年度)</th> <th>後期 (R3年度～R8年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>事業(1) ソーンシステムの導入</td><td>実施中</td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(2) 乗換拠点の整備</td><td>実施中</td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(3) 快速バス等の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS</td><td>実施中</td><td>拡大検討</td></tr> <tr><td>事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(6) 路面電車ネットワークの拡充</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(14) バスロケーションシステム等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(16) バリアフリー対応車両の充実</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)</td><td>実施中</td><td>拡大実施</td></tr> <tr><td>事業(18) パークアンドライド(P&amp;R)、サイクルアンドライド(C&amp;R)等の拡充</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進</td><td>実施中</td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(20) 新しい生活様式への対応</td><td></td><td>拡大検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(21) 公共交通のシームレス化の推進</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> <tr><td>事業(23) 自動運転技術の導入検討</td><td></td><td>検討・実施</td></tr> </tbody> </table>	事業名称	事業スケジュール		前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R8年度)	事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施	事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施	事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施	事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討	事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施	事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化		検討・実施	事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施	事業(6) 路面電車ネットワークの拡充		検討・実施	事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入		検討・実施	事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施	事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施	事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施	事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施	事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施	事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施	事業(14) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(16) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施	事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施	事業(18) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施	事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施	事業(20) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施	事業(21) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施	事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定		検討・実施	事業(23) 自動運転技術の導入検討		検討・実施
事業名称	事業スケジュール																																																																																																																																																																		
	前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R7年度)																																																																																																																																																																	
事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討																																																																																																																																																																	
事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(6) 路面電車ネットワークの拡充		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(14) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(16) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(18) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(20) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(21) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(23) 自動運転技術の導入検討		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業名称	事業スケジュール																																																																																																																																																																		
	前期 (H28年度～R2年度)	後期 (R3年度～R8年度)																																																																																																																																																																	
事業(1) ソーンシステムの導入	実施中	検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(2) 乗換拠点の整備	実施中	検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(3) 快速バス等の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(4-1) 公共車両等の走行環境の改善 バス専用(優先)レーン、PTPS	実施中	拡大検討																																																																																																																																																																	
事業(4-2) 公共車両等の走行環境の改善 ボトルネック交差点等の改良、バスベ이의整備等	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(4-3) 公共車両等の走行環境の改善 路面電車の軌道の高度化		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(5) バス・鉄軌道等の輸送力の向上	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(6) 路面電車ネットワークの拡充		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(7) 熊本市電における上下分離方式の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(8) 桜田/バスターミナル・熊本駅を核とした新たな路線の検討	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(9) 共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(10) 環状線(まちなかループバス等)の導入	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(11) 輸送資源を活用した交通体系の効率化		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(12) 公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の導入	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(13) 新たなコミュニティ交通の導入		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(14) バスロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(15) 市電ロケーションシステム等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(16) バリアフリー対応車両の充実	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(17) 電停のバリアフリー化(電停改良)	実施中	拡大実施																																																																																																																																																																	
事業(18) パークアンドライド(P&R)、サイクルアンドライド(C&R)等の拡充	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(19) 交通事業者等と連携した利用促進	実施中	拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(20) 新しい生活様式への対応		拡大検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(21) 公共交通のシームレス化の推進		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(22) 利用しやすい市電のダイヤ設定		検討・実施																																																																																																																																																																	
事業(23) 自動運転技術の導入検討		検討・実施																																																																																																																																																																	

第8章 計画の達成状況の評価

修正前											修正後																																																																															
<p>P157</p> <p>(2) 計画の見直し</p> <p>PDCA サイクルに基づき、計画の見直しを行います。</p> <p>また、市電の延伸や鉄軌道の結節強化などの既存の公共交通ネットワークへの影響が大きな施策の検討・展開状況等に応じて、適宜、計画の見直しを行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28 (2016)</th> <th>H29 (2017)</th> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>R4 (2022)</th> <th>R5 (2023)</th> <th>R6 (2024)</th> <th>R7 (2025)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本地域公共交通計画 (R3.4月改定)</td> <td colspan="10">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H28.4~</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↑ 見直し (R2年度末)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	熊本地域公共交通計画 (R3.4月改定)	→											H28.4~				↑ 見直し (R2年度末)						<p>P157</p> <p>(2) 計画の見直し</p> <p>PDCA サイクルに基づき、計画の見直しを行います。</p> <p>また、市電の延伸や鉄軌道の結節強化などの既存の公共交通ネットワークへの影響が大きな施策の検討・展開状況等に応じて、適宜、計画の見直しを行います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28 (2016)</th> <th>H29 (2017)</th> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>R3 (2021)</th> <th>R4 (2022)</th> <th>R5 (2023)</th> <th>R6 (2024)</th> <th>R7 (2025)</th> <th>R8 (2026)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本地域公共交通計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)</td> <td colspan="11">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>H28.4~</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↑ 見直し (R2年度末)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	熊本地域公共交通計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)	→												H28.4~				↑ 見直し (R2年度末)						
年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)																																																																																
熊本地域公共交通計画 (R3.4月改定)	→																																																																																									
	H28.4~				↑ 見直し (R2年度末)																																																																																					
年度	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)																																																																															
熊本地域公共交通計画 (H28.3月策定) (R3.4月改定)	→																																																																																									
	H28.4~				↑ 見直し (R2年度末)																																																																																					